

【6月29日】

令和3年度教育長訪問

昨年度は録音による審査でしたが、今年度は来場制限や時間短縮などの感染症対策を講じ、瑞浪市総合文化センターで瑞浪市主張大会が行われました。瑞浪北中学校からは3年のM・Yさんが、「私の誇り」と題した主張を胸を張って行いました。

昨年の7月12日の豪雨で突然倒壊した大湫町の大杉。このできごとが、町民の心を一つにして大杉再生事業が始まりました。大湫で生まれ育ったM・Yさん

は、住民を670年もの間守ってきた大杉を、今度は自分たちが守ろうと必死になって取り組む人たちに感動しました。その時の思い、その事実から学んだこと、そして、次世代を担う若者の一人としての決心を、豊かな言葉で伝えました。



「大杉の倒壊という悲しい現実と向き合い、必死に大杉を守ろうとする人々の姿から、私は大切なことを見つけました。「故郷を愛するとは、こういうことなのだ」「普段は当たり前すぎて気付かなかったけれど、故郷の素晴らしさは、一つのこと心に通わせる人たちの中にある」ということです。

大杉の雄姿を、もう見ることはできません。しかし、私は大湫町に住む一人として、また、

決して多くはない、大湫町の次世代の担い手として、故郷の人々の大杉への思いを大切に受け継ぎ、これからも、自分ができるところを実行していきます。そして、もっともっと大湫町を好きになりたいと思っています。

私の故郷大湫町は、「大杉が育ててくれた町」「住民が大杉を守った町」です。そんな大湫町と、そこに暮らす人たちが私の誇りです。」

主張の目的は、思いを大湫町の人たちに届けること。M・Yさんの主張は、大湫町の人々の力強い後



押しとなることでしょう。